

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 森永乳業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2264 URL <http://www.morinagamilk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 紘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員広報IR部長 (氏名) 田形 均

TEL 03-3798-0126

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	314,685	0.8	13,015	40.8	13,179	41.7	6,987	79.5
21年3月期第2四半期	312,275	—	9,241	—	9,301	—	3,892	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	27.67	27.62
21年3月期第2四半期	15.39	15.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	356,133	102,516	28.4	400.08
21年3月期	348,111	97,497	27.5	378.61

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 101,020百万円 21年3月期 95,612百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	6.00	6.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	586,000	0.4	14,900	29.3	14,700	30.8	7,000	64.5	27.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	253,977,218株	21年3月期	253,977,218株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,475,048株	21年3月期	1,444,357株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	252,512,343株	21年3月期第2四半期	252,897,362株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の緊急対策によって個人消費や生産など一部に回復の兆しが見られました。しかしながら、雇用・所得環境は厳しさを増し、輸出と設備投資は低迷を続けるなど、依然として景気は低い水準で推移いたしました。

食品業界におきましては、消費の伸び悩みに加え、消費者の生活防衛意識の高まりから低価格志向が強まり、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは、お客様のニーズに応えた商品の開発、改良に努めるとともに、3月に実施された原料乳買入価格の引き上げに伴うコスト上昇を吸収するために、牛乳類を中心に商品価格の改定を実施し、その浸透に努めてまいりました。また、積極的な販売促進活動を行う一方で、引き続き生産・物流の合理化や経費の削減を進めてまいりました。

これらの結果、森永乳業単体の売上高は、牛乳類、チーズ、ヨーグルト、粉乳、乳飲料などが前年同期実績を上回ったことから、合計で前年同期実績を上回りました。一方、連結子会社の飼料販売などが前年同期実績を下回り、連結売上高は3,146億8千5百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

連結の営業利益、経常利益、四半期純利益は、原料乳コストの上昇を商品価格の改定、売上数量の増加、原材料コストの低下、広告費の削減および内部合理化によって吸収したことから、営業利益は130億1千5百万円（前年同期比40.8%増）、経常利益は131億7千9百万円（前年同期比41.7%増）、四半期純利益は69億8千7百万円（前年同期比79.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、主に季節的要因により「受取手形及び売掛金」が増加したため、前連結会計年度末に比べ80億2千1百万円増の3,561億3千3百万円となりました。

負債の部は、「コマーシャル・ペーパー」や借入金は減少したものの、主に季節的要因により「支払手形及び買掛金」および「未払費用」が増加したため、前連結会計年度末に比べ30億2百万円増の2,536億1千6百万円となりました。

純資産の部は「利益剰余金」の増加により、前連結会計年度末に比べ50億1千9百万円増の1,025億1千6百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の27.5%から28.4%に、1株当たり純資産額は前連結会計年度末の378.61円から400.08円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月27日に発表いたしました通り、平成22年3月期の通期業績予想を次の通り修正しております。

売上高は、第3四半期以降も個人消費の回復は弱く、また、消費者の低価格志向が続くと予想されるため、5,860億円に下方修正いたしました。営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、第2四半期までの業績をもとに、営業利益を149億円に、経常利益を147億円に、当期純利益を70億円に、それぞれ上方修正いたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当社（提出会社）及び連結子会社において当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,193	4,172
受取手形及び売掛金	56,631	49,387
商品及び製品	25,483	27,277
仕掛品	607	617
原材料及び貯蔵品	6,650	7,203
その他	15,894	14,801
貸倒引当金	△1,202	△870
流動資産合計	113,259	102,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	71,399	72,019
機械装置及び運搬具（純額）	56,489	57,444
土地	71,862	71,874
その他（純額）	12,476	13,151
有形固定資産合計	212,227	214,490
無形固定資産	4,211	4,334
投資その他の資産		
投資有価証券	13,944	13,660
その他	13,140	14,128
貸倒引当金	△649	△1,092
投資その他の資産合計	26,435	26,696
固定資産合計	242,873	245,522
資産合計	356,133	348,111

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,335	62,524
短期借入金	4,168	6,581
1年内返済予定の長期借入金	5,337	5,272
コマーシャル・ペーパー	—	5,000
1年内償還予定の社債	10,250	500
未払法人税等	4,986	2,891
未払費用	31,345	27,390
その他	22,328	22,539
流動負債合計	146,751	132,701
固定負債		
社債	50,100	60,100
長期借入金	34,768	36,089
退職給付引当金	11,606	11,757
その他	10,389	9,966
固定負債合計	106,865	117,913
負債合計	253,616	250,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,442	19,442
利益剰余金	62,498	56,925
自己株式	△547	△536
株主資本合計	103,098	97,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,011	△1,974
繰延ヘッジ損益	△16	21
為替換算調整勘定	△50	29
評価・換算差額等合計	△2,078	△1,923
新株予約権	142	105
少数株主持分	1,353	1,779
純資産合計	102,516	97,497
負債純資産合計	356,133	348,111

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	312,275	314,685
売上原価	219,834	217,200
売上総利益	92,440	97,484
販売費及び一般管理費	83,199	84,469
営業利益	9,241	13,015
営業外収益		
受取利息	124	59
受取配当金	315	245
持分法による投資利益	7	138
受取家賃	230	240
その他	575	579
営業外収益合計	1,252	1,263
営業外費用		
支払利息	877	874
その他	314	226
営業外費用合計	1,192	1,100
経常利益	9,301	13,179
特別利益		
固定資産売却益	421	1
貸倒引当金戻入額	93	—
補助金収入	—	45
移転補償金	—	45
特別利益合計	515	92
特別損失		
固定資産処分損	375	487
(財)ひかり協会負担金	824	823
減損損失	78	12
投資有価証券売却損	—	278
その他	66	191
特別損失合計	1,343	1,793
税金等調整前四半期純利益	8,472	11,478
法人税等	4,579	4,341
少数株主利益	0	149
四半期純利益	3,892	6,987

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

平成22年3月期第2四半期決算 参考資料

森永乳業株式会社

(証券コード2264 東証大証1部)

(注)下記表記の「第2四半期」は累計期間(4月1日～9月30日)です。

1. 連結

(1) 当第2四半期の業績 (単位:百万円)

	金額	前同差	前同比(%)
売上高	314,685	2,410	100.8
営業利益	13,015	3,774	140.8
経常利益	13,179	3,877	141.7
四半期純利益	6,987	3,094	179.5

(2) 通期の業績予想 (単位:百万円)

	金額	前期比(%)	当初予想からの増減額
売上高	586,000	100.4	△4,000
営業利益	14,900	129.3	2,200
経常利益	14,700	130.8	2,200
当期純利益	7,000	164.5	2,000

(3) 設備投資および減価償却費(推移と見込み) (単位:億円)

	設備投資額	減価償却費
平成18年3月期実績	284	165
平成19年3月期実績	290	165
平成20年3月期実績	288	178
平成21年3月期実績	219	164
平成22年3月期見込み	175	167
平成22年3月期第2四半期実績	73(109)	80(78)

平成22年3月期第2四半期実績の()内は前期第2四半期実績を表示

(4) 研究開発費(推移) (単位:百万円)

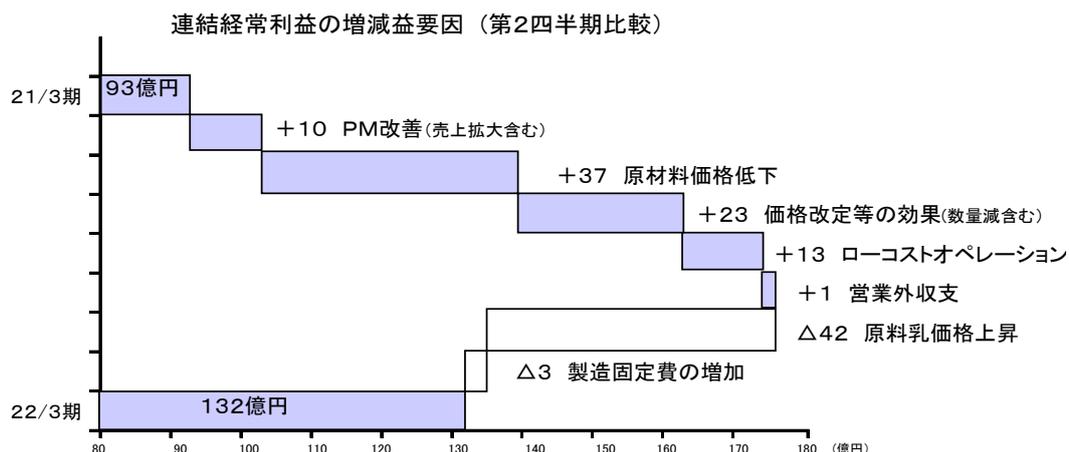
	金額
平成18年3月期実績	4,997
平成19年3月期実績	4,893
平成20年3月期実績	4,841
平成21年3月期実績	4,704
平成22年3月期第2四半期実績	2,313(2,293)

平成22年3月期第2四半期実績の()内は前期第2四半期実績を表示

(5) 従業員数(推移)

	9月末	3月末
平成18年3月期実績	5,966名	5,815名
平成19年3月期実績	5,896名	5,718名
平成20年3月期実績	5,979名	5,799名
平成21年3月期実績	5,867名	5,739名
平成22年3月期実績	5,592名	-

2. 連結経常利益の増減益要因



3. 個別

(1) 当第2四半期の販売実績

(単位:百万円)

製品分類	金額	前同差	
		前同差	前同比(%)
市乳計	113,183	6,640	106.2
牛乳類	43,661	6,021	116.0
乳飲料等	37,364	440	101.2
ヨーグルト	24,410	495	102.1
プリン等	7,747	△ 317	96.1
乳製品計	46,790	1,110	102.4
練乳	2,151	△ 78	96.5
粉乳	18,324	462	102.6
バター	5,302	△ 138	97.4
チーズ	21,012	864	104.3
アイスクリーム	32,033	△ 47	99.9
その他計	49,518	△ 2,625	95.0
飲料	17,148	△ 2,487	87.3
その他	32,369	△ 138	99.6
合計	241,526	5,077	102.1

(注) その他計中のその他には、ゼリー、クリーム類などが含まれる
 ※上記の個別売上高については、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 部門別売上高予想

(単位:百万円)

	通 期		下 期	
	金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
市乳計	211,100	105.0	97,916	103.6
牛乳類	81,500	112.7	37,839	109.2
乳飲料等	67,400	101.3	30,036	101.4
ヨーグルト	46,400	101.6	21,990	101.0
プリン等	15,800	95.6	8,053	95.2
乳製品計	96,400	101.5	49,610	100.6
練乳	4,300	97.6	2,149	98.7
粉乳	37,200	101.5	18,876	100.5
バター	10,500	98.6	5,198	99.8
チーズ	44,400	102.6	23,388	101.1
アイスクリーム	50,700	100.4	18,667	101.5
その他計	93,800	95.2	44,282	95.4
飲料	29,800	87.1	12,652	86.9
その他	64,000	99.4	31,631	99.3
合計	452,000	101.6	210,474	100.9

(3) 設備投資および減価償却費（推移と見込み）

(単位:億円)

	設備投資額			減価償却費
	合計	うち生産設備	うち販売設備	
平成18年3月期実績	251	226	25	116
平成19年3月期実績	262	241	21	123
平成20年3月期実績	210	191	19	132
平成21年3月期実績	132	116	16	118
平成22年3月期見込み	110	94	16	120
平成22年3月期第2四半期実績	52(65)	46(55)	6(10)	57(55)

平成22年3月期第2四半期実績の()内は前期第2四半期実績を表示

(4) 従業員数（推移）

	9月末	3月末
平成18年3月期実績	3,184名	3,087名
平成19年3月期実績	3,165名	3,036名
平成20年3月期実績	3,159名	3,068名
平成21年3月期実績	3,165名	3,103名
平成22年3月期実績	3,187名	-

(5) 集乳量（推移）

(単位:千トン)

	集乳量		
	合計	北海道	都府県
平成18年3月期実績	780	475	305
平成19年3月期実績	811	467	344
平成20年3月期実績	839	485	354
平成21年3月期実績	826	500	326
平成22年3月期第2四半期実績	432(414)	244(249)	188(165)

平成22年3月期第2四半期実績の()内は前期第2四半期実績を表示

以上

ご注意

本資料の業績予想については、発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的として作成されたものではありません。